|  |  |
| --- | --- |
|  | 小千谷旅する案内帳「千の谷の物語と雅色の郷　小千谷」 |

**妙高寺　愛染明王坐像**

ガイド案内

* 愛染明王は像高119センチ、台座からは約210センチ。ヒノキ寄木造りで彩色が美しい仏像です。姿は三眼六臂（さんがんろっぴ）～眼が3つ、腕が6本～髪を逆立て、頭には獅子の冠をいただき、宝瓶（たからがめ）、紅い蓮華の台座にお坐りになっています。
* 手のうち第一手は息災を表し、左手には鈴、右手には五鈷（ごこ）を持ち、第二手は愛敬（あいきょう）和合（わごう）の大切さを表し、左手には弓、右手には矢を持ち、第三手は迷いや誘惑に打ち勝つことの大切さを表し、左手は固く握りしめ、右手には蓮の蕾を持っています。
* 全身は赤色で三眼をみはり、口を大きく開いた怒りの表情で、心の迷いや悩みを焼き尽くし、人々を救うとされる仏様です。
* 台座とご光背は大正13年火災により焼失しましたが、昭和10年奈良の仏師、新納忠之介の手により復元されました。
* 昭和10年4月文部省より国宝（旧法）に指定され、戦後、昭和25年には文化庁より国の重要文化財に指定されました。

エピソード

* 愛染明王は、昔より「あいぜんさま」と親しまれ、家内安全、商売繁盛、厄除け開運、交通安全、縁結び、病魔調伏、身体堅固、災難消滅、染色、造醸の仏様として妙高寺開創以来、多くの方々に信仰され続けています。
* 毎年6月第2土曜日が愛染明王の大祭です。昔から夏を告げる祭りとして有名で、愛染明王の御開帳には、大勢の人が参拝します。奉納花火や富くじ、演芸などのアトラクションがあり、露店も多く出て、子どもから大人まで沢山の人で賑わいます。

関連サイトURL

　http://www.myoukouji.com/

住所

新潟県小千谷市川井114

メモ